

2022 年度産業連携共同研究創出支援プログラム研究計画書 記入要領

【学術研究・イノベーション推進機構（IMO）】

研究計画書の作成に当たっては、以下の内容に従ってご記載ください。

※※※ IMOのURAに事前相談のある応募が審査対象となります※※※

- ・計画書の作成においては、10.5ポイント以上のフォントで記載してください。
- ・ページの追加、削除等の改変はせず、本書式に従って記載してください。
(記載の結果、スペースが空いても問題はありません)
- ・記載の内容は、本プログラムの審査及びIMOのスタッフによる研究支援活動以外には利用しません。

「研究計画書1-1、1-2（研究の構想）」面について

- ・所属する部局名、研究代表者氏名等をご記載ください。研究分担者がいない場合は、空欄で結構です。

（記載例）

部局名 大学院〇〇学研究院

研究代表者氏名 ^(ちば たろう)
千葉 太郎

専攻等・職名・年齢 〇〇学専攻△△コース・准教授・××才

1. 研究テーマ

- ・提案する研究テーマ名称について、具体的にご記載ください。

（記載例）

〇〇物品の強度を50%以上高めることを目的とした△△化合物の合成を探索する予備的研究

2. 公募要項「2. 目的」、「3. 本プログラムが対象とする研究の内容」に基づいた提案概要 (本研究が目指している内容)

- ① 提案する研究は、公募要項「3. 本プログラムが対象とする研究の内容」のア～イのいずれか又は両方に該当するののか、該当する箇所に○印をご記載ください。

（記載例）

ア	○	イ	
---	---	---	--

- ② 続いて、提案する研究について公募要項「2. 目的」のA～Cのそれぞれの内容に沿い、①で選んだア～イの選択根拠が具体的に分かるようにご記載ください。

※「②提案する研究構想 A（前提となる研究開発構想）」欄には、提案する研究構想に対する競合・類似研究（技術）の有無（競合・類似研究がある場合、当該研究が実施されている機関・研究者名等と当該研究との相違点）を含めてご記載ください。

- ③ 上記の内容を踏まえて、構想する「企業との共同研究」の概要を、次の点も加味してご記載ください。
- ・将来、どのような実用化、製品化等が見込まれるのか、また、その実用化、製品化等により、どのような社会的効果が見込まれるのか。
 - ・企業との共同研究において想定される研究期間、研究費（単年度当たり）の規模（所定の記入欄あり）。
 - ・相手側企業の業種、また、具体的な企業名が分かっている場合は、具体的な企業名（所定の記入欄あり）。
- ④ 本共同研究構想に対する企業からの「期待」、「要請」、「課題等」に関して、当該企業の開発責任者等からのコメントを別紙（様式任意、受信メール等も可、A4判1枚程度）にて、研究計画書と併せてご提出ください。
- ⑤ 申請前に相談したIMOの担当URA氏名をご記載ください。

「研究計画書2（研究実施計画）」面について

3. 本学での具体的な実施計画

- ・公募要項「2. 目的」、「3. 本プログラムが対象とする研究の内容」に基づいた提案概要（本研究が目指している内容）を踏まえて、本学での具体的な実施計画についてご記載ください。

4. 申請金額

- ・人件費の計上は認められません。
- ・申請金額の上限は1,500千円です。
- ・以下の記載例に沿って、具体的にご記載ください。

（記載例）

・〇〇分析キット	1000千円		
・〇〇試薬	340千円		
・企業との研究会開催経費（3回開催）	150千円		
・〇〇（株）研究所打合せ旅費	10千円（2,000円×5回）		計1,500千円

5. これまでの特許等知的財産の取得状況（出願中を含む）

- ・研究推進部産学連携課において記入しますので記入不要です。
- ・研究計画に対して有益と認められる場合は、審査上考慮されます。

【研究計画書4ページ】

「2. 提案概要」、「3. 具体的な実施計画」について図等で説明する場合は、この欄にご記載ください。その際、研究構想や実施計画のどの部分を説明しているのか、分かるように明示してください。図等がない場合は、空欄で差し支えございません。

（記載例）

2、②、Bに関する説明

以上